

あけましておめでとうございます

ず～むあっぷ☆オホーツク発刊から半年が経過しました。
これからもタイムリーな情報をお届けしますので、
今後ともよろしくお願いいたします。(^_^)V

農観連携ビジネス創出シンポジウムを開催

◎農観連携ビジネス創出推進協議会発足

昨年10月、農林水産業と観光の連携でオホーツク地域にインバウンド需要等を取り込むことを目的に、同地域の民・学・官で構成する「農観連携ビジネス創出推進協議会」が発足しました。役員は以下のとおりです。

会 長：東京農業大学生物産業学部長 黒瀧秀久教授
副 会 長：北見工業大学知的財産センター長 有田敏彦教授
事務局長：北海道農政事務所北見地域拠点 地方参事官 中島英明

◎シンポジウムの開催

同協議会は、12月8日、北見市端野町においてキックオフイベントとなる「農観連携ビジネス創出シンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは2部構成となっており、第1部では、北見工大生から「オホーツクに住むひとりひとりが観光大使になろう！」また、東京農大生から「旅行者の観光目的が人と人との交流に変化してきている」など、学生から見たオホーツク観光の話題提供があり、続くトークセッションでは、東京農大の小川助教のコーディネートにより、遠軽町で農家民宿を営む江面陽子氏から「ボラバイト」の受入れや英語のホームページ開設で外国人宿泊者が増えたことなどの具体的な取組事例の紹介のほか、JTBオホーツク支店北見営業所長、



学生による話題提供



トークセッションで発言する江面氏



熱心に議論を交わすワークショップ参加者

オホーツク・テロワール代表理事、オホーツク総合振興局産業振興部長から、観光業・地域振興・行政それぞれの立場からの意見が交わされました。

第2部のワークショップでは、参加者が農業・商業・自治体・学生などの6グループに分かれ、農観連携によって管内に人を呼び込むための課題の洗い出しを行いました。

このシンポジウムによって明らかになった諸課題は、農観連携ビジネス創出推進協議会において今後議論し、協議会活動の中で、ひとつひとつ解決に向けた企画を新たに検討していくこととしています。

平成28年12月14日、美幌高校において特別授業が行われ、これに参加した小野が当日の様様についてレポートします。

●参加者

北海道美幌高等学校地域資源応用科3年生39名

常呂町農業協同組合青年部・女性部15名

北海道農政事務所11名

(全体を6グループに分けて意見交換)

●テーマ

「オホーツク農業の魅力」をいかにして発信していくか

私は、進行役として女子高生6人とJA女性部1人のグループに属し、オホーツク農業の魅力、発信方法、課題について、話し合いを行いました。

初めに、オホーツクの魅力について付箋紙にメモしてもらい、「自然が素晴らしい」「食べ物や美幌のお水がおいしい」「動物とのふれあい」など色々な方面から魅力の発見が出されました。JA女性部の方は、埼玉県出身ということで、外から見た意見を話していただき、高校生らは、地元にいると埋もれてしまっている「オホーツク」の魅力について「気づく」ことができたようです。



JA青年部からの発表



美幌高生からの発表



女子グループの討議の様子

魅力の発信方法は難しく、子どもの頃から慣れ親しむ事ができる体験型の場所や幅広い世代において楽しめる観光地、そして何より、そこには美味しい食べ物があれば良いという話で授業が進行しました。

また、学校帰りに気軽に寄れるがつつり(笑)食べられるお店やスイーツが食べられるお店があったらと女子高生ならではの話もあり、そういうお店が地元にあると、自らPRできるのではないかという意見も出されました。

最後に、「この授業のことを家族とも話しをしてみてね。」と親目線で話しをし、グループ討議を終えました。

若い方と話しをすることにより、新たな魅力の発掘に繋がり、有意義な意見交換となったのではと思っています。

お知らせ

平成28年11月29日、政府の「農林水産業・地域の活力創造本部」において、「農業競争力強化プログラム」及び「農林水産物輸出インフラ整備プログラム」を決定し、「農林水産業・地域の活力創造プラン(改訂版)」の中に位置づけました。

「農業競争力強化プログラム」は、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力では解決できない構造的な問題を解決するためのものです。

「農林水産物輸出インフラ整備プログラム」は、農林水産物・食品輸出額の平成31年1兆円達成に向けて、本年5月にとりまとめた「農林水産業の輸出力強化戦略」を着実かつ強力に実行していくため、ハード・ソフト両面のインフラ整備を盛り込んでいます。

〈農林水産省のホームページを参照して下さい。〉

http://www.maff.go.jp/j/kanbo/nougyo_kyousou_ryoku/nougyo_kyoso_ryoku.html



「補助金等の逆引き辞典」もご活用下さい。

編集後記 今年もよろしくお願ひいたします。三男がようやく小学校最高学年に上がります。学校では知られている？私も地域の皆様には、まだまだです。出来るだけ「オホーツク」を縦断できるよう取り組んでいきたいと思ひます。(おのの)

編集：農林水産省北海道農政事務所 北見地域拠点

〒090-0018 北見市青葉町6-8 北見地方合同庁舎

TEL 0157-23-4171 FAX 0157-23-5358

北見地域拠点HP <http://www.maff.go.jp/hokkaido/kitami/index.html>